

令和 6 年 2 月 9 日

資料 2

令和 5 年度 第 2 回 障がい当事者部会

緊急時に想定される課題の整理

1 課題抽出・整理の目的

区で進める緊急時の取組を踏まえ、障がい当事者の目線から、実際の緊急時に想定される課題や必要な支援策について意見を抽出することで以下に2点に繋げる。

➤拠点機能の充実

➤緊急時に活用できる社会資源の整理

2 「もしも」に備えた区の取組

➤ 安心支援プラン

平常時から、介護者の緊急時に備えて連絡先や対応をまとめておくことで、いざというときに関係者が円滑に対応できるよう、備えておくための計画。計画は、拠点登録をした計画相談事業所の相談員が作成する。

➤ 区内短期入所施設の拠点登録

赤塚ホームの短期入所を拠点登録し、緊急時に優先的に利用できるよう、連携していく。

3 緊急時に想定される課題

令和5年度第1回 障がい当事者部会において緊急時の課題及び必要な取組を抽出し、令和5年度第2回地域自立支援協議会にて報告した。

- 緊急時の相談窓口を一本化し、関係者や警察等にも周知が必要
- 相談を受ける人のスキルアップ
- 夜間や閉庁時における緊急の対応体制ができていない
- 視覚障がい者など、緊急のひっ迫性が低い障がい者に対しても対応できる相談体制
- 難病患者の若年化に対応できる体制整備
- ヤングケアラーへの支援
- 障がい者が引きこもりの場合でも問題を表面化できるシステムが必要
- 緊急時も医療的ケアが継続できるような公的な体制整備の充実
- 本人の障がい特性や関わり方を理解している支援者と連絡が取れる体制
- 本人が保護された施設でのやり取りを関係者が把握できる体制の整備

4 地域生活支援拠点で対応する課題の整理

